寝具寝装 モノ作り

リュクス 生産・物流の一貫体制構築 日中拠点生かし安定供給

寝装・インテリア企画製造のリュクス（大阪市西区）は、日本と中国に生産・物流拠点を持ち、企画から製造、検品、物流まで自社グループによる一貫体制を構築している。新型コロナウイルス禍でも一貫体制の強みを発揮し、安定供給へつなげている。

中国合弁工場10％増収
Ｊ∞クオリティー認証取得

リュクスは、中国に合弁の寧波明輝寝具（浙江省）、青島徳隆紡織（山東省）のグループ企業を持つ。青島徳隆紡織の2020年2～5月の売り上げは、前年同期比10％増だった。新型コロナの影響がある中、安定した製品供給でニーズに応えた。

青島徳隆紡織はふとんカバーや敷パッド、キルトケットを生産する。日本向けが主力で、ふとんカバーは年間400万枚手掛ける。17年には山東省済寧市にキルティング工場を新設し、18秋冬から本格稼働している。

新型コロナの感染拡大で青島徳隆紡織も操業停止していたが、2月15日には操業再開。原材料を豊富に備蓄していた点や、地元従業員が9割以上を占めていたことでスムーズに再稼働できた。

さらに中国国内の小規模工場の倒産などで、青島徳隆紡織を含めた大手に日系の発注が集中。企画から製造、検品、物流まで自社グループ一貫体制による安定供給が強みになり、受注を増やした。

ロジテック本社

販売も堅調な専門店系チェーンストアや通販向けの比率が高く、20春夏向けシーツやカバー、敷パッドの販売を伸ばした。

青島徳隆紡織では中国の環境規制から廃業する企業がある中で、安定供給のため、毛布の縫製加工設備を導入。19年に月産8万枚の供給体制を構築したが、需要の高まりから今年7月に設備を追加して生産能力を1・5倍に増強。秋冬向けを拡販する。

寧波明輝寝具はウレタン連続発泡機1台、モールド成型機5ライン、圧縮機7台、3Dウレタンカット機4台、プロファイル加工機2台、本縫いミシン100台などを備えて、マットレスや枕、クッションを生産する。年間生産能力は枕約300万個、マットレス約80万枚に上る。さらに多針・コンフォーターキルトマシンを導入。18年からスプリングマットレスも生産している。

寧波明輝寝具の販売先は欧米向けが70％、日本向けが30％を占める。新型コロナで欧米がロックダウン（都市封鎖）した影響で、20年2～5月は減収を余儀なくされた。

国内には、17年6月に開設した縫製工場「リュクス工房」（愛知県蒲郡市）がある。カバー類を主力に、国内協力工場も活用して年間約25万枚に対応できる体制を構築している。リュクス（生地の販売）と、リュクス工房（寝装品縫製）は20年1月、純正国産表示制度「Ｊ∞クオリティー」企業認証も取得した。

検品・物流機能を向上
日中間で一貫管理

リュクスは、検品・物流機能を持つ点も強みに挙がる。グループ会社のロジテック（大阪府貝塚市）が100％出資し、05年に中国に青島友都国際物流（山東省）を創設。07年5月には廈門支店（福建省）を開設した。2拠点で各種縫製品（衣類、服飾、寝装品、靴、日用雑貨）の検品、検針、保管、物流、貿易業務を幅広く担う。

青島友都国際物流は19年1月に同省内で移転新築した。従業員約80人。さらに山東省棗庄市に18年8月に、従業員100人規模の分室を稼働した。

廈門支店は従業員約90人で、日本人常駐者、中国人の検品経験者が監督、指導する。X線検査機を保有するとともに、検品場には少ない備蓄、在庫スペースがある。検品、保管、ピッキング、提携による輸出入業務の一貫輸送が可能で物流コストの合理化へつなげられる。同支店は6月に同省内で移転し、延床面積は4千平方㍍に上る。

移転した廈門支店（福建省）

国内には大阪府貝塚市に約1万2千平方㍍の物流センターがある。中国、国内の拠点を生かしたダブルフォローで、中国側の出荷状況から国内の得意先まで日中間の一貫管理を実現している。

生産や物流の一貫体制整備に加えて、設備投資を行ってリモートワーク体制の整備を一段と進め、自社グループ連携や顧客対応力を高める。

英国ブランドが浸透
「スマセル」と資本業務提携

製品では、ライセンスブランドの展開を積極的に進める。英国の歴史あるタオル・寝具ブランド「クリスティ」の国内独占販売権を取得済み。クリスティは格式高いデザインを特徴とし、1988年からテニスの世界四大大会の一つであるウィンブルドン選手権の公式タオルとして採用されている。ウィンブルドンタオルは、スポーツ用品製造卸やテレビルートへ販売している。

サステイナビリティーでは、オーガニック認証機関であるエコサートからOCS（Organic Content Standard）認証を取得（認証番号：N° EGL/16988 5/920838/1）。

OCSは、有機製造に関する欧州連合（EU）の規則に沿った有機農法の認証、または米国農務省のUSDA／NOP認証を受けた原料を使用し、原料生産から最終製品まで全工程におけるトレーサビリティーが保証されている。

全製造過程の工場は、第三者国際有機認定機関によって毎年行われる実地・書類の両検査をクリアする必要があり、高品質のオーガニック製品を安定的に供給できる証しとなっている。リュクスでは18春からOCS認証のオーガニック製品を本格展開している。

さらに生地や繊維製品の在庫を売買できるB2Bサイト「スマセル」を運営するウィファブリック（大阪市西区）と資本業務提携を19年に結んだ。スマセルへの出資を通して、ホームファッション分野の取引先の在庫問題に対応し、環境負荷低減につなげる。

株式会社リュクス　〒550-0005　大阪市西区西本町 1-4-1 オリックス本町ビル　TEL：06-6541-1551　FAX：06-6541-1558